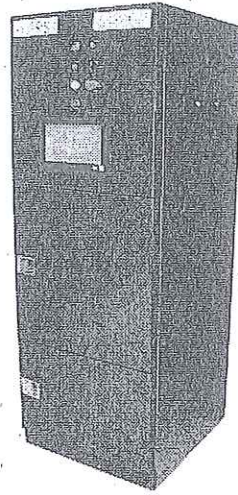


# 廃棄物の一元管理を実現

## 省スペース型圧縮機発売

イーコス



タッチパネルを装着したイーコスキューブ

廃棄物事業コンサルタントや環境関連機器の販売を手掛けるイーコス（東京都中央区、遠藤正浩社長、☎03・35516805）は、自治体指定ごみ袋の有効活用と排出物の一元管理に効果的な圧縮機「イーコスキューブ」を発売した。自治体によるごみ袋有料化の動きが進むな

か、指定ごみ袋を利用して事業系一廃を排出しているコンビニエンスストアやファストフード店を中心に売り込む。

同圧縮機は欧州でシェア4位のマックファブ社製で、イーコスが日本総代理店として販売する。サイズは縦167センチ×横61センチ×奥行65センチ。自治体指

定有料ごみ袋45・70・90リットの3サイズに対応しており、0・8リットの圧縮力で発生したごみを約5分の1に圧縮し、コストが掛かりがちな指定ごみ袋の効率的な使用に貢献する。

さらに、オプションでウェブを利用した廃棄物の排出量一元管理通信機能を追加できる。このシステムでは、同機にデータ入力用のタッチパネルを装着。インターネットを介して同機とデータを集約・管理するASPサーバーをつなぎ、排出場所にテナント名、ごみ

袋サイズ、個数をサーバーに送信し、排出日時などの排出情報をサーバー内にリアルタイムで記録する。

集約されたデータはPCからアクセスすることで閲覧でき、期間別の数量や排出品目などを確認可能だ。各種の情報を利用することで廃棄物の排出管理を容易にし、企業の排出物抑制活動にも効果を発揮する。タッチパネル操作もごく簡単で、テナント側で容易にデータ送信ができるように配慮した。価格は装置本体が50万円、オプション

のタッチパネルが10万円の特別価格（いずれも期間限定）で販売。リースでの提供も行う。

同社の遠藤社長は「当社は既に一元管理システムとして『イーコスネット』を運営しているが、簡便なイーコスキューブも用意することで、一元管理を導入しやすい環境作りを図っていく。圧縮機と併せ、有料ごみ袋のコスト削減と発生抑制意識の向上に、同時に貢献できれば幸いだ」と抱負を語った。